

# 平成25年度（第58期）事業報告

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

## 1. 会員の異動状況

| 会員の種類        |    | 本期末会員数 | 前期末会員数 | 差引増減 |
|--------------|----|--------|--------|------|
| 名誉会員         |    | 12     | 11     | 1    |
| 正会員          |    | 2412   | 2356   | 56   |
| 学生会員         |    | 154    | 154    | 0    |
| 維持<br>会<br>員 | S級 | 2      | 2      | 0    |
|              | A級 | 11     | 11     | 0    |
|              | B級 | 6      | 6      | 0    |
|              | C級 | 10     | 10     | 0    |
|              | D級 | 14     | 15     | △1   |
|              | E級 | 108    | 111    | △3   |
|              | 合計 | 151    | 155    | △4   |
| 公共会員         |    | 11     | 12     | △1   |

## 2. 事業の状況

### (1) 行事

| 行事名                          | 講演件数 | 参加者数 | 期日              | 場所  |
|------------------------------|------|------|-----------------|-----|
| 第4回日中トライボロジー先端フォーラム          | 20   | 56   | 平成25.4.13-15。   | 北京  |
| トライボロジー会議 2013 春 東京          | 202  | 922  | 平成25.5.21-23    | 東京  |
| 第57期通常総会・特別フォーラム             | 1    | 208  | 平成25.05.22      | 東京  |
| 第6回トライボロジーテーマ別基礎講座           | 2    | 18   | 平成25.6.26       | 東京  |
| 第44回トライボロジー入門講座              | 10   | 97   | 平成25.7.18-19    | 東京  |
| 女性トライボロジスト座談会                | 0    | 6    | 平成25.10.1       | 東京  |
| 第6回トライボロジースキルアップ講座           | 4    | 19   | 平成25.10.15      | 東京  |
| サテライトフォーラム：<br>将来の自動車の潤滑を考える | 6    | 103  | 平成25.10.22      | 福岡  |
| トライボロジー会議 2013 秋福岡           | 243  | 609  | 平成25.10.23-25   | 福岡  |
| 第6回トライボロジー入門西日本講座            | 10   | 35   | 平成25.10.31-11.1 | 京都  |
| 第4回トライボロジー秋の学校               | 3    | 103  | 平成25.11.8-9     | 宮城  |
| トライボロジー先端講座                  | 4    | 54   | 平成26.3.3        | 東京  |
| トライボロジー懇談会                   | 4    | 92   | 年4回開催           | 東京他 |

## (2) 会誌

会誌は「トライボロジスト」を12回発行。ページ数本文872ページ(58巻4号～59巻3号)。特集として「科学教育とトライボロジー」、「次世代自動車の関連技術動向」、「流体潤滑の新展開」、「高速鉄道を支えるトライボロジー関連技術」、「硬質炭素膜のトライボロジー」、「トライボロジーの分子シミュレーションの新展開」、「ソフトマターの諸相とトライボロジー」、「自転車のトライボロジー」、「宇宙用機器・航空機のトライボロジー」、「複合硬質膜の開発動向と膜特性評価法の現状」、「入門講座一例題や事例から学ぶトライボロジー」、「火力発電とトライボロジー」を刊行した。

また、シリーズとして「トライボロジー・ナウ トライボロジー海外体験記—アラウンド・ザ・ワールド—」、「入門講座 トライボロジー教室」を開始した。

## (3) 研究会

| 研 究 会 名                | 種 別 | 回 数 | 場 所       |
|------------------------|-----|-----|-----------|
| トライボロジーロードマップ          | 第1種 | 3   | 東京        |
| 自動車の省資源・省エネルギー         | 第1種 | 4   | 東京、愛知     |
| 添加剤技術                  | 第2種 | 6   | 東京、福岡     |
| 固体潤滑                   | 第2種 | 4   | 東京、神奈川、三重 |
| グリース                   | 第2種 | 4   | 東京、香川     |
| 転がり軸受寿命                | 第2種 | 0   |           |
| エンジン潤滑                 | 第3種 | 3   | 東京        |
| 転がり疲れ                  | 第3種 | 2   | 東京、神奈川    |
| シール                    | 第3種 | 3   | 大阪、神奈川    |
| 鉄道のトライボロジー             | 第3種 | 1   | 東京        |
| ファイル記憶のトライボロジー         | 第3種 | 2   | 東京、神奈川    |
| 摩 耗                    | 第3種 | 2   | 大阪、兵庫     |
| メンテナンス・トライボロジー         | 第3種 | 3   | 栃木、神奈川、福井 |
| 塑性加工のトライボロジー           | 第3種 | 2   | 東京、神奈川    |
| トライボケミストリー             | 第3種 | 2   | 東京、愛知     |
| 自動車のトライボロジー            | 第3種 | 4   | 愛知、栃木     |
| アルミニウムのトライボロジー         | 第3種 | 2   | 愛知        |
| 高分子材料のトライボロジー          | 第3種 | 3   | 東京        |
| トライボ材料の環境適合性           | 第3種 | 1   | 東京        |
| 超を目指す軸受技術              | 第3種 | 3   | 京都        |
| スペーストライボロジー            | 第3種 | 1   | 神奈川       |
| エコマシニングとトライボロジー        | 第3種 | 0   |           |
| 食品工場用潤滑油               | 第3種 | 1   | 栃木        |
| 分子シミュレーションのトライボロジーへの応用 | 第3種 | 2   | 東京、愛知     |
| 変速機のトライボロジー            | 第3種 | 2   | 東京、福岡     |
| 合成潤滑剤の化学               | 第3種 | 0   |           |

|                    |     |   |          |
|--------------------|-----|---|----------|
| 機能性コーティングの最適設計     | 第3種 | 1 | 愛知       |
| テクスチャリング表面のトライボロジー | 第3種 | 3 | 宮城、東京、愛知 |
| エロージョンとその応用        | 第3種 | 1 | 福井       |
| 境界潤滑               | 第3種 | 3 | 東京、神奈川   |
| 日本海トライボロジー         | 地区  | 1 | 新潟       |
| 北海道トライボロジー         | 地区  | 2 | 北海道      |

#### 4 主な取り組み

##### 4.1 平成25年度 第58期事業計画事業

上記計画事業は予定どおり実施され、本会会誌トライボロジスト誌の発行、英文オンラインジャーナル (Tribology Online) の Web 掲載、春、秋のトライボロジー会議と、各種講習会・懇談会（含む、入門、先端、スキルアップ講座等）の開催、第1種、2種および3種の各研究会活動等を通して、トライボロジーの技術の向上と産業界への普及を図り、本会の社会貢献度と認知度を高めた。

また、第4回日中トライボロジー先端フォーラム開催、トライボロジー会議春東京での国際フォーラム開催、Asiatrib への協力、さらに2015年に国際トライボロジー会議 (ITC Tokyo 2015) を東京で開催することとし、開催場所、日程ならびに実行委員会を立ち上げるなど、国際活動を一層進めた。

##### 4.2 本会運営

昨年度完成した新情報システム（学会業務支援システム）を用いて、会員への情報提供と公開に要する時間を短縮し、会員管理の機能強化と容易化が進んだ。同時に、学会 Web システム整備による論文投稿・編集・校閲や各種行事に関わる対応の迅速化を進めた。さらに、一般社団法人化に対応した会計方式を2000年度方式へ移行すべく準備を進めた。加えて、各委員会の委員構成見直しを行ない、また、トライボロジー懇談会活動を教育講習委員会内に集約するなど、効率的な運営を図った。

##### 4.3 新規事業

今年度あらたに以下の事業に取り組んだ。

- ① 通報に関する規程の制定とシンポジウム開催計画
- ② 女性トライボロジスト・セミナーの試験的開催と事業化計画
- ③ マレーシア、チェコおよびスイス・トライボロジストとの交流事業
- ④ 研究会合同による技術フォーラムの開催

##### 4.4 今後の課題

- ① 会員入会制度見直しと、その運用による会員増強策と会員構成の適正化
- ② トライボロジー相談室の活用と普及
- ③ 魅力ある会員サービスの創出と既存事業の見直し
- ④ 機械状態監視診断技術者資格認証事業における本会と日本機械学会との役割確認と合意